

施政方針について

(質問) 三重県は、高齢運転者の交通事故防止策で、ブレーキの踏み間違いを防止する後付け安全運転支援装置に補助を行う市町への助成を検討している。高齢運転者の事故防止のため、本市も安全運転支援装置の補助を行うべきと考える。また、地区市民センターに感染予防用の消毒液がなく、窓口職員がマスク

を装着せずに来庁者に対応していた。窓口職員や来庁者の感染防止策が不十分であり、危機管理の観点からマスクや消毒液などの備蓄により感染防止対策を図るべきと考える。

(答弁) 後付け安全運転支援装置は、三重県の補助制度の詳細が決定次第、本市も速やかに補助制度を創設する。新型コロナウイルスの対応では、今回のような不測の事態に備えたマスクの備蓄を行ってこなかった。今回の状況を教訓として、今後、初期対応に必要な量のマスクや消毒液などの備蓄に努める。

一般質問 (要旨)

市議会ホームページにて一般質問の録画配信と会議録を公開しています。詳細は16ページをご覧ください。

交通政策について

(質問) 令和2年度一般会計予算に「新交通システム事業費」が計上されたが、地域主体の新たな交通システム実証実験について、対象地区選定の経緯、アンケート調査や、地域の代表、民間事業者などと協議を重ねた結果、どのような結論に至ったのかを尋ねる。移動手段を必要とする他の地域への調査や働き掛け

も並行して行うべきであるがいかがか。

(答弁) 本市の公共交通空白地域である7つの地区から、65歳以上の高齢者の方が最も多い一ノ宮地区を選定した。住民アンケートの結果を基に地域の代表と協議を行い、10人乗りのワンボックス車両を用いた定時定路線運行を選択肢の一つとして、すでに交通事業者とも協力体制について協議している。他地域への導入の可能性については、市民ニーズなどを把握するためのアンケートなど、さまざまな調査を通じて検討していきたい。

気候変動適応計画策定について

(質問) 気候変動適応計画の策定を、無作為抽出による市民参画で取り組み、若い世代への人数割り当てを多くしてはどうか。令和2年度の半ばには、検討会議を立ち上げてはどうか。事前復興の視点を、地域防災計画と都市マスタープランに反映してはどうか。

(答弁) 気候変動適応計画については、令和

4年度の環境基本計画の改定に組み込むこととし、令和2年度から庁内関係部局と勉強会を開催するなど、連携協力体制を構築していく考えである。市民向けには、若者を含めたさまざまな年代の市民や事業者を対象に、勉強会や意見交換会を開催する考えである。現行の地域防災計画を修正する中で、「市事前都市復興計画(仮称)」の策定検討を位置付けた。都市マスタープランについては市の地域防災計画や県の方針などを踏まえ、全面改定に向けた総括の際に検討したい。

Cバスについての27回目

(質問) 本市における公共交通空白地域の考え方は。また、一ノ宮地区で実施を予定している地域主体の新たな交通システムについて、利用料金や運行経路の考えはあるか。

(答弁) 本市では、既存の鉄道駅やバス停から1キロメートル以遠の区域を公共交通空白地域と定義してきたが、市民の方々の意見と

は隔たりが見られることから、現在、公共交通空白地域の考え方について検討を進めている。交通まちづくりとの連携など、新たな課題に対応するため、新たな交通計画の策定を進め、市街化区域、市街化調整区域の分け隔てなく整理していきたい。また、新たな交通システムの利用料金については、現段階では未定である。今後、福祉政策との関連もあり検討していく必要があると考える。運行経路については、地域の方々に検討を進めていただいているところである。